

## 南伊勢町地球温暖化対策計画に基づく令和2年度排出実績について

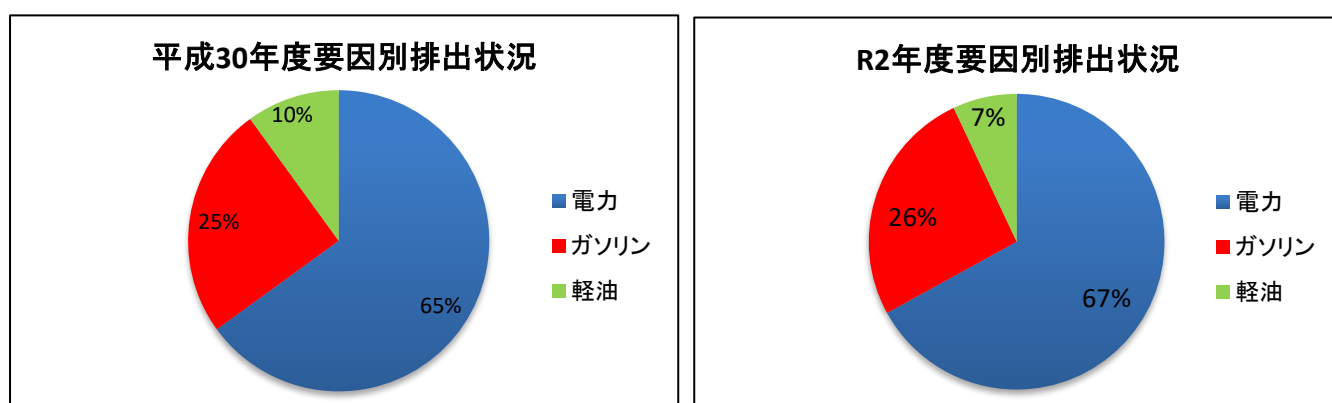
### 1. 各年度目標値・実績値・達成状況

下の表とグラフは、温室効果ガスの排出目標値と実績値です。

二酸化炭素以外の温室効果ガスについては、排出量全体に占める割合が極めて小さいこと、また、その排出源が多岐にわたるため算定が困難なことから、南伊勢町地球温暖化対策実行計画で対象とする温室効果ガスは、二酸化炭素のみとする。

(単位：kg-CO<sub>2</sub>)

年度	目標総排出量	目標削減量	目標削減率	総排出量	削減量	削減率
H30 (実績)	313,928	—	—	—	—	—
R1	310,788	3,140	1.0%	295,681	18,247	5.8%
R2	309,219	4,709	1.5%	279,628	34,300	10.9%
R3	307,649	6,279	2.0%	—	—	—
R4	306,079	7,849	2.5%	—	—	—
R5	304,510	9,418	3.0%	—	—	—



### 【総評】

令和2年度の二酸化炭素総排出量は279,628 (kg-CO<sub>2</sub>)、基準年度である平成30年度と比較すると34,300 (kg-CO<sub>2</sub>) の削減となり、削減率は10.9%となりました。

二酸化炭素総排出量が削減した大きな要因は、電力使用量と軽油使用量が大幅に減少したことによるものです。電力使用量の減少につきましては年々減少しており、コロナ禍における会議室の使用頻度が減少したことによるものと推察されます。なお、軽油使用量の減少においても、コロナ禍のためマイクロバスの使用回数が大幅に減少したことによるものです。

二酸化炭素排出要因別割合をみると、電力が67%、ガソリンが26%、軽油が7%となっており、要因別割合は基準年度とほぼ同じ結果となりました。

また、令和元年度と比較すると全ての項目において削減されており、ガソリン・軽油使用量がおおよそ10%程度削減しており、全体としては5.4%の削減となりました。要

因としましては、コロナ禍によるものであると考えられます。

令和2年12月に「ゼロカーボンシティみなみいせ」を宣言したことを鑑み、本計画第3章具体的な取組を全職員で各課の役割・業務内容や場面に応じて実行することで、今後、より一層の二酸化炭素排出抑制に努めていきます。